

—— 南部ではじめよう Okinawan Resident Life ——

沖縄県立南部医療センター・ こども医療センター

臨床研修医



募集

Okinawa Prefectural Nanbu Medical Center & Children's Medical Center



【 南部医療センター・こども医療センターの理念 】

こどもからおとなまで 「大切な命を守り、県民に貢献する」病院

県立南部医療センター・こども医療センターは、全国でも数少ない、こども病院を併設した、大人とこどものための総合医療センターとして2006年4月、当時の県立那覇病院と県立南部病院を整備・統合し、全く新しい機能や役割を持った基幹病院として開院しました。

全病床数は444床(小児病床124床)で、急性期病院として位置付けられています。診療の特徴として、胎児期から成人までを対象とし、あらゆる疾患に対応する事が可能な高度で多機能な病院です。我が国の少子高齢化社会において、こどもから大人までを継続して医療サービスを受ける事ができるユニークな病院として注目を集めています。

【 基本方針 】

1. 県民と協働し、共感・共存できる公的医療を実践します。
2. 県民生活を守る救急医療を365日24時間提供します。
3. 病んでいるこども達の可能性を最大限に生かせるよう努力します。
4. 教育・研修病院として良き医療人を育成します。
5. 病状や治療方針について、平易な言葉で十分に説明し、納得がいく同意を得るよう努力します。
6. 病院ボランティアの受け入れを進んで行います。
7. 県民が誇れる、県民の病院として地域交流から国際交流まで進めていきます。
8. 沖縄県の基幹病院として職場環境に配慮し、健全経営に努めます。



【 病院の特徴 】

南部医療圏における救命救急医療

県都那覇市を含む南部医療圏(人口約74万人)はもちろん、沖縄県(一部鹿児島県)の離島からの症例についても救命救急センターで24時間365日、初期から3次のすべての救急患者(小児から高齢者まで・特殊疾患も含めて)に対応し治療に当たります。

小児の専門診療(こども病院機能)

沖縄県全域と近接する県外の小児を対象とした、小児医療の最終病院として3次医療機能を有します。総合周産期母子医療センター、母体・胎児集中治療室(MFICU,6床)、新生児集中治療室(42床)、および小児集中治療室(8床)を有し、高度専門医療を行う完結型のこども病院として、全県から紹介、搬送される重症児の管理を行います。

また在宅医療や小児の成育・支援を含めた小児の総合診療を提供します。



高度多機能病院

成人部門には24の診療科があり、多岐にわたる専門性の高い疾患が集まります。また当院は、急性冠症候群、脳血管障害、多発外傷など内因系、外因系疾患に対する集中治療室(ICU15床)を有し、高度医療を行います。また地域支援病院として、紹介、逆紹介を通じ、急性期・慢性期の病診連携を行います。



精神身体合併症医療

総合病院の中に、県内では最初の合併症専用の精神科病棟(5床)を持ち、身体合併症のある精神疾患を内科、外科や他科と連携し治療を行います。

離島、へき地医療支援

当院は8カ所の附属診療所のへき地医療拠点病院として、医療支援を行い、離島の人々の健康をサポートします。



若者と共に 未来を描く

2023年7月より研修管理委員長を務めます土屋洋之です。2010年より当院救急科に所属し、医歴19年目です。ここ沖縄は、県立中部病院を祖とする、長い歴史を持つスーパーローテート研修のメッカです。たくさんの症例を経験し、上級医と一緒に、なつてよりよい方針を屋根瓦方式のもと、実践的に模索していきます。沖縄県立南部医療センター・こども医療センターは、その名の通り、成人総合病院とこども病院が一体となり、かつ救命救急センターを擁する全国でも稀な形態をとる病院です。ここでは、小児から成人まで、外因性、内因性、軽症、重症を問わず、幅広い病態の患者さんを診療しています。救命救急センターではそのすべてにおいて、初期研修医がフロントラインに立ち、上級医の指導のもと診療にあたっています。超急性期から訪問診療を含む慢性期まで、当院ではすべてのステージの総合診療を経験することができます。医師としてのスタートを切るにあたり、十分な経験を得ることができます。ぜひ、ここ南部医療センター・こども医療センターで医師としてのスタートを切ってみませんか！若い力を心よりお待ちしております！

臨床研修管理委員長・救急科副部長

土屋 洋之

Hiroyuki Tsuchiya

研修プログラムの特徴



■ 研修の基本的な方針

全国から初期臨床研修医、専攻医を受け入れ、現在(2024年4月1日)研修医・専攻医49名、スタッフ144名で屋根瓦方式や相方向性の医学教育を行います。初期研修は、常に患者の立場に立った医師像の形成、病歴、身体所見の取り方、基本的な手技を取得する事を学び、検査に頼らない全身状態から診た重症度の判断力を養成します。初期臨床研修・専門医研修を通して、全科豊富な common disease への臨床暴露により、プライマリ・ケアの素養を身に付け、ジェネラリスト育成を目指します。

■ 屋根瓦方式の指導体制

上級医が後輩医を指導する、いわゆる「屋根瓦方式」の手厚い指導体制を採用しています。特に屋根瓦方式は救急医療の研修の現場に適応しています。救急室は常に初療を経験することができ、研修医にとって最も適した修練の場です。初期研修医1年次を2年次が、さらに各科の専攻医が、そして指導医が指導します。

■ 救急医療

当院は、南部地域の救急医療の中心的な役割を担っています。初期研修においても多くの症例を経験する場です。ER業務での特徴は、必ず24時間365日、上級医(スタッフ)が**現場に常駐すること**と、準夜帯、当直帯において**複数名(1・2年次研修医が2名ずつ)勤務**することです。上級医の指導・助言をもらうことも同年代間でディスカッションすることも可能な環境を整えています。

令和5年度
実績



・ER総受診者数 32,893人
・救急車取扱い件数 4,557件

■ 各科カンファレンスの充実

モーニングカンファレンス、コアレクチャー、スタッフレクチャー、外部からの特別講演、診療所や海軍病院との症例検討会などを行います。また、県立中部病院と連携して米国の教授陣から指導を受ける機会があります。その他各診療科において研修医の学会発表を積極的にサポートしています。

■ コアレクチャー

月曜日から金曜日の昼12時15分から13時00分までの45分間、昼食をとりながら受講します。講義内容は受けたその日からの患者診療に役に立つような実践的なものを目指しています。



コアレクチャー01/小児救急対応について



コアレクチャー02/外国人講師によるレクチャー

■ 360度評価

医師・看護師・医療従事者から自身を評価してもらいたい方を選んで評価して頂きます。フリーコメントには良い悪いを含め、日頃から関わっている方だからこそ言えるコメントがもらえます。この評価から出た評価点をもとに年度の各年次ベストレジデントを選出します。

■ 地域医療・離島診療所研修

当院は8ヶ所の附属診療所のへき地医療拠点病院として医療支援を行い、離島の人々の保健、健康をサポートします。離島研修の間には地元の方々と直に交流する機会もあり、より深く地域を知り生活に密着した様々な経験ができます。



地域医療研修



8つの診療所で
離島の医療を守ります

研修カリキュラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科		救急科	外科			麻酔科	精神科	小児科	産婦人科		
2年次	内科		救急科	地域医療研修	選択							
救急準夜当直												

※地域医療研修 … 沖縄県内離島診療所(2週間)+クリニック(4週間)を組み合わせる。

内科ローテーション … 循環器、消化器、神経、血液、呼吸器、腎・リウマチ、地域医療科
 外科ローテーション … 一般外科、麻酔科、選択(整形外科、脳外科、小児外科、形成外科、心外、小児心外、耳鼻科)
 小児科ローテーション … 小児総合診療科、選択(神経、新生児科、血液腫瘍、腎臓、循環器)



当院では初期研修医がグラム染色をし、
抗菌薬を決定します。



レジデントの日々



内科

7:30~

内科カンファレンス

毎週火曜日・金曜日は内科全体でのカンファレンスです。火曜日は研修医2年目のケースカンファレンスがあります。様々な科のスタッフからいろいろな質問やショートレクチャーがあり、勉強になります。

金曜日はスタッフレクチャーです。専科の最新トピックスや興味深い話題まで内科全体の勉強会です。それ以外の日はM&M、CPC、各科抄読会・カンファレンスがあります。

8:30~

救急当直から入院患者のプレゼンテーション

当直帯に入院した患者を各科で振り分けて担当します。担当したい症例があれば自ら手をあげることも。担当が決まったら問診・身体診察・指示出しです。



9:00~

グループ回診および病棟回診

各科に分かれてカルテ確認をし、病棟回診を行います。プレ回診で把握した内容及び方針をスタッフにプレゼンテーションします。

10:30
~12:15

病棟業務

新規入院患者のアドミッションノート(入院サマリー)を作成しながら、平行して病棟業務を行います。アドミッションノートは初期研修医1年目の大切な仕事です。救急室より入院依頼があればそれに対応します。

12:15
~13:00

コアレクチャー・救急症例発表

昼食をとりながら内科だけではなく病院全体様々な科のレクチャーを受けます。研修医が担当になり救急で診た症例の発表を行うこともあります。

13:00~

病棟業務および新患診察

病棟業務を行いながら担当患者の検査があれば、同行し手技や画像の読影を学びます。もちろん、救急室より入院依頼があればそれに対応します。

16:00~

夕回診

新規入院患者や検査結果についてプレゼンテーションを行い、病棟回診をします。

17:00~

準夜勤・当直・病棟業務へ

準夜勤・当直以外は残った業務をしながら今後の方針を先輩Dr.と考えます。

業務が終われば、同期や先輩とご飯を食べに行きます。抄読会やカンファレンスの準備に追われることも…。

外科

7:30~

回診、カンファレンス

月水金:カルテ回診。主治医が入院患者さんについてプレゼンし、検査や今後の方針に関しての確認等を行います。(多い時は40人近い患者さんが入院しています。)

研修医も興味を持った症例のプレゼンをし、自ら考えたアドバイスを提案することが出来ます。もちろん上級医の先生からアドバイスがあるので安心です。

火:毎週、一般外科、心臓血管外科、小児外科で前の週に行った手術に関して術後のカンファレンスを行います。他科の手術に関しても学べる貴重な時間です。

木:毎週、消化器内科の先生と互いに患者さんに関して相談します。内科のみや外科のみでは治療できない患者さんも沢山いるため、相互に協力して、手術や内視鏡に関して相談し合います。

火、木曜日も、上記のカンファレンスが終わったらカルテ回診を行います。

その後は手術に行く人と病棟業務をする人に分かれます。病棟業務をする場合は傷の処置やドレーンの抜去なども行います。またカンファレンスで確認した内容のオーダーや各部署への連絡などを行います。



8:30~

手術

月火木金は8:30から手術があります。月曜日に大きな手術が行われることが多く、1日かけて胃全摘、肝切除、膵頭十二指腸切除術などの手術が行われます。他の曜日は、小手術が2~3件あり、緊急の症例が入るかどうかで手術件数は増減します。

研修医は、第2助手として入ることが多く、腹腔鏡のカメラを担当することが多いです。

12:15~

コアレクチャー

1年生はコアレクチャーに参加します。

17:00~

夕回診・準夜勤・当直

手術が終わり次第、夕方の回診を行います。カルテ回診で一日の流れや、変化があった患者さんに対して疑問がある場合は積極的に質問し、学びを深めます。当直や準夜がある場合は17時に間に合うように救急当直に向かいます。



数字で見る 当院
(令和5年度)

・ 成人外来受診者数 121,007人
・ 成人入院患者数 100,714人

数字で見る 当院
(令和5年度)

・ 外科の手術件数 2,201件

小児科

7:30～

症例カンファレンス

初期研修医や専攻医、上級医の先生方が、日替わりでプレゼンテーション、ディスカッションを行います。

8:30～

カルテ診

病棟回診前に入院患者の状態を把握します。

10:30～

病棟回診、検査、処置

回診でその日の方針を決定し、検査結果の確認、処置、治療の指示出しなどを行います。



12:15
～13:00

コアレクチャー

13:00～

病棟業務

上級医や専攻医と回診を行います。
回診後、病棟業務(カルテ記載、採血、エコー検査)を行います。
上級医や専攻医の先生方と救急外来に行き、受診している患者さんの様子を診に行くこともあります。

14:30～

カルテビュー

日中の病棟での変化をまとめて、カルテ記載をしつつ回診に備えます。

16:00～

夕回診・ショートレクチャー

上級医と夕回診を行い患者さんについて話し合いフィードバックをもらいます。

17:00～

申し送り、準夜勤・当直

各科をまたいで管理するため、毎日しっかりと申し送りをしています。



数字で見る 当院
(令和5年度)

- ・ 小児外来受診者数 29,238人
- ・ 小児入院患者数 33,978人

産婦人科

7:30～

ケースカンファレンス

当直の申し送り、前日の入院、手術、分娩などの報告。
初期研修医には一人一人担当患者さんが決まり、その患者について発表します。

9:00～

病棟管理、または手術

自分の担当患者が手術や分娩であれば対応し、そうでなければ病棟管理を。
当院は総合周産期センターなので、沖縄南部地区及び離島の重症妊婦が搬送されます。入院患者は大体20-30名位。胎児心疾患を含む様々な胎奇形、母体合併症妊婦、産科疾患の管理を行います。日々のバイタルや、患者の全身状態、また連日午前中にCTGモニターを施行するので、子宮収縮の状態や胎児の状態を把握し、管理します。



11:00～

病棟回診

上級医とカルテ診後、病棟回診を行います。このときには入院患者全員の把握をし、今日の状態を発表します。

12:15
～13:00

コアレクチャー

13:00～

入院患者の診察、入院時カルテの作成

その日の入院患者の問診をとり、身体診察をします。産科的な診察は専攻医または上級医と一緒にします。胎児エコーをさせてもらえることもよくありますよ!
その日の仕事が終わり次第終了。分娩になりそうな人がいたら、しっかり経過を診ていきます。



17:00～

準夜勤・当直

数字で見る 当院
(令和5年度)

- ・ 年間総分娩数 544件



懐の深い 沖縄の研修生活

業天 一生

Issei Gyoten

こんにちは!初期研修医2年次の業天一生です。

当院での初期研修の魅力を紹介します。

こどもから大人まで「大切な命を守り、県民に貢献する」病院という当院の理念の通り、沖縄南部地区の最後の砦として機能していて、幅広い年齢層・様々な困りごとを持った患者さんの診療に最前線で関わることができます。

全国から多種多様なバックグラウンドを持った人が集まり、医療に対する情熱を持っている人が多いため、医師としても一人の人間としても大きく成長できる環境があります。

一方で、一歩外に出ればそこにはリゾート地Okinawaが広がっていて、オフの日にはプライベートを充実させられる環境もあります。僕は県外出身ですが職員同士の交流も多く職種間の垣根が低いため、単身で沖縄に来てても全く心配はいらないです。懐深く受け入れてくれる沖縄だからこそ、最高の研修生活が始まるはずですよ。

実際の雰囲気を感じに一度見学に来てみてください!



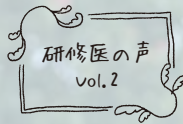
全国から研修医が集まります

【これまでの初期研修医出身地】

北海道	青森県	秋田県	山形県	福島県	東京都	千葉県	埼玉県	神奈川県	群馬県
栃木県	茨城県	新潟県	石川県	福井県	山梨県	富山県	静岡県	愛知県	岐阜県
大阪府	京都府	三重県	滋賀県	和歌山県	奈良県	兵庫県	岡山県	広島県	鳥取県
島根県	山口県	徳島県	香川県	高知県	愛媛県	福岡県	長崎県	佐賀県	熊本県
宮崎県	鹿児島県	沖縄県							

【これまでの初期研修医出身大学】

北海道大学、旭川医科大学、札幌医科大学、弘前大学、秋田大学、山形大学、福島県立医科大学、獨協医科大学、東京大学、東京医科歯科大学、東京慈恵会医科大学、日本医科大学、東京医科大学、日本大学、順天堂大学、東邦大学、昭和大学、東京女子医科大学、千葉大学、横浜市立大学、北里大学、群馬大学、自治医科大学、筑波大学、新潟大学、金沢大学、金沢医科大学、富山大学、福井大学、信州大学、浜松医科大学、名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学、大阪医科大学、関西医科大学、近畿大学、京都大学、大阪大学、三重大学、滋賀医科大学、和歌山県立医科大学、奈良県立医科大学、神戸大学、兵庫医科大学、岡山大学、川崎医科大学、鳥取大学、島根大学、山口大学、徳島大学、高知大学、愛媛大学、九州大学、福岡大学、産業医科大学、久留米大学、長崎大学、佐賀大学、熊本大学、大分大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学



めんそ〜れ沖縄! 初期研修をぜひ当院で!

下 結香 Yuika Shimo

みなさんこんにちは。初期研修医2年目の下結香と申します。

当院の特徴として、年齢や重症度に関係なく様々な症例に実践的に触れられることが挙げられますが、私からは1年経って他に素敵だなと感じたことを紹介させていただきます。

まずは、見学時から感じた居心地の良さです。これはコメディカルだけではなく、警備員さんや清掃員の方まで、院内の方々が優しい雰囲気を作って下さっています。

次に、研修医の主体性です。普段の診療はもちろんですが、研修医が主体となってクリスマス会など院内のイベントを行ったりします。

他にも、より良い研修になればという思いのもと、既存のプログラムに捉われず、研修医自身がアイデアを出し、レクチャー企画や運動会など様々な挑戦をしています。

いかがでしょうか。少しでも興味があれば、ぜひ見学にお越し下さい。沢山の楽しい研修医たちがお待ちしております!



「どんな研修医になりたいか」 一度見学に来てください

垣田 一步 Ippo Kakita

皆さんこんにちは!初期研修医1年の垣田一步です。わたしからは研修先に悩んでいる方へ、わたしがこの病院を決めた理由をお伝えします。私がこの病院を選んだ理由は、「わたしもこんな研修医になりたい」と強く心惹かれた背中の中の大きい先輩方の存在です。見学に来た時、研修医の先生方の働きぶりに驚いたのを覚えています。研修医の先生方はみんな忙しそうにしながらも楽しそうに働かれていて、チーム医療の一員として病院に必要とされていると感じました。実際に勤務してみて思うのは、病院全体に研修医を育てようという雰囲気があるということ。先生たちの熱意あるご指導、研修医が最前線で働くER業務、たくさんの症例発表の機会、そして振り返り・学びの場(お昼のレクチャー講義)があり、南部には研修医が成長できる環境が整っています。そして日々一生懸命働く一方で、オンオフははっきりしており、プライベートの時間は充実しています。休みの日は沖縄の海に癒されに行くことだって出来るし、もちろん同期で出かけることも多々あります。真面目に学びつつ、真面目に遊ぶ。こんな素敵なお環境はないと私は自信を持って当院での研修をおすすめできます。ぜひ、私たちと一緒に医師への一歩を踏み出しましょう!沖縄で待っています。

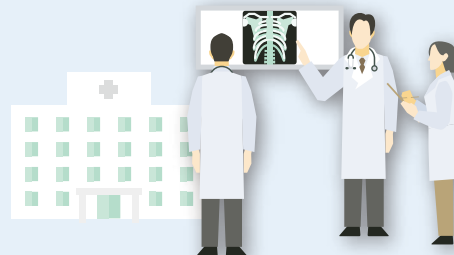


□ 院外研修施設一覧①(協力施設先)

- | | | | |
|------------|------------|----------------|------------------|
| 01. 沖縄協同病院 | 06. 渡名喜診療所 | 11. 波照間診療所 | 16. 平田胃腸科・内科 |
| 02. 那覇市立病院 | 07. 栗国診療所 | 12. 公立久米島病院 | 17. 三原内科クリニック |
| 03. 渡嘉敷診療所 | 08. 北大東診療所 | 13. 首里城下町クリニック | 18. ゆずりは訪問診療所 |
| 04. 座間味診療所 | 09. 南大東診療所 | 14. まつおTCクリニック | 19. うえはらこどもクリニック |
| 05. 阿嘉診療所 | 10. 伊平屋診療所 | 15. 徳山クリニック | |

□ 院外研修施設一覧②(協力型病院施設先)

- | | |
|---------------|--------------|
| 01. 琉球大学病院 | 06. 沖縄県立精和病院 |
| 02. 沖縄県立中部病院 | 07. 浦添総合病院 |
| 03. 沖縄県立北部病院 | 08. 石巻赤十字病院 |
| 04. 沖縄県立宮古病院 | 09. 熊本労災病院 |
| 05. 沖縄県立八重山病院 | |



新専門医制度 専門研修基幹施設

- | | |
|--------|----------|
| 01.内科 | 04.小児科 |
| 02.外科 | 05.総合診療科 |
| 03.救急科 | 06.形成外科 |

認定医療機関

01. 日本医療機能評価機構認定病院 3rd G.Ver2.0
02. 総合周産期母子医療センター
03. 地域医療支援病院

指定医療機関

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 01. 保険医療機関 | 11. へき地医療拠点病院 |
| 02. 更生医療指定医療機関 | 12. 臨床研修指定病院 |
| 03. 労災指定病院 | 13. 被爆者一般疾病医療機関 |
| 04. 生保、児童、身体障害者福祉等
各法指定病院 | 14. 救命救急センター |
| 05. 結核予防法指定病院 | 15. 特定疾患治療研究事業委託医療機関 |
| 06. 原爆医療指定病院 | 16. 難病指定医療機関 |
| 07. 看護教育実習指定病院 | 17. 指定小児慢性特定疾病医療機関 |
| 08. エイズ医療拠点病院 | 18. 小児救命救急センター |
| 09. 災害拠点病院 | 19. 九州・沖縄ブロック小児がん連携病院 |
| 10. 第一種・第二種感染症指定医療機関 | |

学会認定施設

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 01. 日本内科学会認定教育関連病院 | 36. 認定輸血検査技師制度協議会認定指定施設 |
| 02. 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設 | 37. 日本医学放射線学会放射線科専門医修練施設 |
| 03. 日本消化器病学会専門医認定施設 | 38. 日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医修練施設 |
| 04. 日本肝臓学会認定施設 | 39. 関連10学会構成 胸部ステントグラフト実施施設 |
| 05. 日本消化器内視鏡学会認定指導施設 | 40. 関連10学会構成 腹部ステントグラフト実施施設 |
| 06. 日本呼吸器学会認定施設 | 41. 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設 |
| 07. 日本内分泌学会認定施設 | 42. 日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院 |
| 08. 日本小児科学会認定小児科専門医研修施設 | 43. 日本救急医学会救急科専門医指定施設 |
| 09. 日本小児科学会認定小児科専門医研修支援施設 | 44. 日本高血圧学会専門医認定施設 |
| 10. 日本小児循環器学会小児循環器専門医修練施設 | 45. 日本がん治療認定医機構認定研修施設 |
| 11. 日本小児外科学会専門医認定施設 | 46. 日本血液学会認定血液研修施設 |
| 12. 日本小児神経学会専門医研修施設 | 47. 日本脈管学会認定研修関連施設 |
| 13. 日本産科婦人科学会専攻医指導施設 | 48. 日本歯科口腔外科学会認定医制度による研修施設 |
| 14. 日本産婦人科学会専門研修連携施設 | 49. 日本静脈経腸栄養学会NST実地修練認定教育施設 |
| 15. 日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設 | 50. 日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設 |
| 16. 日本周産期・新生児医学会周産期専門医(新生児)暫定認定施設 | 51. 植込型補助人工心臓治療関連学会協議会認定
植込型補助人工心臓実施施設 |
| 17. 日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)暫定認定施設 | 52. 日本集中治療医学会専門研修施設 集中治療室(ICU) |
| 18. 日本腎臓学会認定専門医研修施設 | 53. 日本集中治療医学会専門研修施設 小児集中治療室(PICU) |
| 19. 日本神経学会専門医制度准教育施設 | 54. 日本小児感染症学会認定専門医制度研修施設 |
| 20. 日本精神神経学会精神科専門医研修施設 | 55. 日本脳神経血管内治療学会研修施設 |
| 21. 日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学専門医研修施設 | 56. 日本感染症学会研修施設 |
| 22. 日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学専門医特定研修施設 | 57. 日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設 |
| 23. 日本外科学会外科専門医制度修練施設 | 58. 日本成人先天性心疾患学会成人先天性心疾患専門医総合修練施設 |
| 24. 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設 | 59. 日本心血管インターベンション治療学会認定合同教育委員会認定経皮
的動脈閉鎖術施行施設 |
| 25. 日本心血管インターベンション治療学会研修施設 | 60. 日本心血管インターベンション治療学会認定合同教育委員会認定経皮
的心房中隔欠損閉鎖術施行施設 |
| 26. 日本眼科学会専門医制度研修施設 | 61. 日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター |
| 27. 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設 | 62. 日本心臓血管麻酔専門医認定施設 |
| 28. 日本整形外科学会専門医制度認定研修施設 | 63. 地域包括医療ケア認定施設 |
| 29. 日本形成外科学会認定施設 | 64. 日本顎変形症学会研修施設 |
| 30. 日本透析医学会認定医制度教育関連施設 | 65. 下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施施設 |
| 31. 日本麻酔科学会麻酔科認定病院 | 66. 日本手外科学会基幹研修施設 |
| 32. 日本臨床細胞学会認定教育研修施設 | 67. 日本泌尿器科専門医教育施設 |
| 33. 日本臨床細胞学会認定施設 | |
| 34. 日本臨床神経生理学会認定施設 | |
| 35. 日本病理学会病理専門医研修登録施設 | |

当院の概要

令和6年4月1日現在

名称／沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター
所在地／〒901-1193 島尻郡南風原町字新川118番地1
開設者／沖縄県知事
開設年月日／平成18年4月1日
病院長／福里 吉充
敷地面積／57,278.52㎡
建物／鉄骨・鉄筋コンクリート造
(建物延床面積 36,571㎡)
建築面積／12,436㎡

病床数／444床(一般 433床・精神 5床・感染 6床)
職員数／1,351人(診療所を除く)
医師 210人／看護部 747人／その他 394人
附属診療所／(稼働数) 8(8)
総合病院承認／昭和59年5月1日
救急告示施設／平成18年4月1日
人工透析／昭和63年6月1日



当院の診療科目

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、気管食道外科、心臓血管外科、脳神経外科、小児外科、整形外科、形成外科、精神科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科、麻酔科、腎臓内科、血液・腫瘍内科、感染症内科、糖尿病・代謝内科、乳腺外科、小児循環器内科、小児心臓血管外科、小児腎臓内科、小児神経内科、小児血液・腫瘍内科、小児内分泌・代謝内科、小児脳神経外科、小児整形外科、小児形成外科、小児精神科、小児泌尿器科、小児眼科、小児耳鼻咽喉科、新生児内科、小児放射線科、小児麻酔科、地域医療科

臨床研修医募集要項

- 募集定員：14名
- 募集方法：全国マッチングによる公募
- 選考方法：書類審査及び面接
- 提出書類：履歴書(指定様式有)、成績証明書
- 申込み期間：3月～9月予定

*見学は随時受け付けております。
詳細はホームページをご参照ください。

処遇

- 身分：会計年度任用職員
- 給与：305,000円～313,000円(基本給+研修医業務手当)
- 手当：時間外勤務手当：40,000円～41,000円
(14.5H当直勤務)
休日勤務手当、夜間勤務手当、期末勤勉手当、退職手当
- 有給休暇：年次休暇(年間10日間)、忌引き休暇、結婚休暇、夏期休暇 他
- 宿舍：有り(※住宅費一部補助有り)
- 社会保険：地共済(短期)、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
(退職手当の支給要件に該当するに至った場合に喪失)

お問い合わせ先

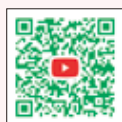
沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター 卒後臨床研修センター

(見学の2週間前までにお申込みください。)

●見学申込み先



●説明会動画



●Facebook

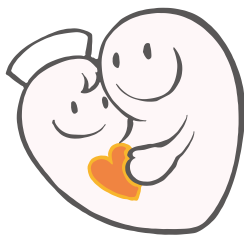


●ラジオ





お問い合わせ



沖縄県立南部医療センター・こども医療センター内 卒後臨床研修センター

TEL:098-888-0123 FAX:098-888-6400

〒901-1193 沖縄県南風原町字新川118-1

メールアドレス:nanbu_pgmecc@hosp.pref.okinawa.jp

那覇空港 南風原町



アクセス



- 那覇空港駅
 - モノレール(ゆいレール) / 27分
 - …340円
- 首里駅
 - 徒歩 / 1分
- 首里駅前バス停
 - 1番 首里牧志線 (那覇バス)
 - 14番 牧志開南循環線 (那覇バス)
- 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
 - 所要時間は、道路事情により異なります。
 - バス / …260円